

部活動地域展開に係る各種説明会の開催状況等について

1 「かこ☆くら」保護者向け説明会

(1) 開催日・会場

① 7月 22日 (火) 別府公民館	33名	※森田教授の講演会あり
② 7月 23日 (水) 平岡公民館	30名	
③ 7月 24日 (木) 陵南公民館	56名	
④ 7月 26日 (土) SHOWAグループ市民会館	111名	※森田教授の講演会あり
⑤ 7月 29日 (火) 東加古川公民館	36名	
⑥ 7月 30日 (水) 尾上公民館	0名	※津波注意報発令の為中止
⑦ 7月 31日 (木) 加古川北公民館	28名	
⑧ 8月 2日 (土) 兩荘公民館	22名	
⑨ 8月 4日 (月) 人権文化センター	30名	※尾上公民館の代替
⑩ 8月 5日 (火) 氷丘公民館	65名	
⑪ 8月 6日 (水) 加古川西公民館	55名	
⑫ 8月 7日 (木) 志方公民館	23名	
⑬ 8月 9日 (土) 加古川総合文化センター	86名	
	合計 575名	

(2) 主な質問と回答

4 - (1) 参照

2 スポーツ・文化団体向け説明会

(1) 開催日・会場

①スポーツ協会説明会 7月 25日 (金) SHOWAグループ市民会館	63名
②文化連盟説明会 7月 28日 (月) 市役所新館9階191会議室	20名
③総合スポーツクラブ説明会 8月 12日 (火) 117いいなスポーツアリーナ	15名
	合計 98名

(2) 主な質問と回答

4 - (2) 参照

3 教職員向け説明会(オンライン)

(1) 開催日

①第1回 8月 18日 (月)	14入室 (学校単位での入室あり)
②第2回 8月 25日 (月)	17入室 (学校単位での入室あり)
	合計 31入室

(2) 主な質問と回答

4 - (3) 参照

4 主な質問と回答の概要

(1) 保護者説明会

①中体連、中体連の大会はどうなるのか。大会等はどうなるのか。(同様の質問16件)

→中体連の大会等の運営は教員が行っており、現状では組織は当面残ると聞いているが、全国的に地域展開が進む中で、今後どうなるか分からないと考えている。引き続き中体連の動向を注視していきたい。

種目協会が中学生部門の大会を開催していただける可能性もあるため、各種目協会へ協力いただけるよう働きかけて行きたい。

②行政の支援策（指導者報酬、施設使用料、用具購入費等）について（8件）

→市の支援として、市の公の施設を使用する場合、使用料を全額免除する。

→用具の購入は今まで個人や部費で購入するなど個人負担はあり、今後も同様となる。経済的困窮家庭への支援については、国のガイドラインにも示されており、国や県の動向を注視しながら検討している。

→支援策は検討中であるが、これまで教員に任せきりであった部分は、保護者にある程度負担していただく必要が出てくる。

③会費額の目安や、会費への補助について（6件）

→全国的な取り組みであり、地域差があつてはならないとの考え方から、夏頃に国において受益者負担額の目安を示すとされている。（今年の冬までに示すと先延ばしになった）

→低廉な会費につながるよう、中学校施設や備品を無料で使用できることとし、市の公の施設の使用料を全額免除して支援するほか、営利活動になつてないか、会計状況の報告を確認していく。

④地域クラブ団体の立上げ見込みについて、地域偏在について（18件）

→立上げの見込みは、今後公募を実施するため現段階では示せない。他自治体の状況を見ても、生徒数が多い地域では、一定の立上げがあると見込んでいる。また、いくつか立上げに関する相談も受けているが、地域偏在は生じると予想しており、他自治体の対策等も参考に、できる限り地域差が出ないよう調整していく。
→市内をエリア分けして活動場所を調整していく予定。今後予定する児童生徒のニーズ調査の結果をもとに地域クラブの配置を検討していく。

⑤学校の関わりについて（かこ☆くらへの参加状況の把握、声掛け）（1件）

→活動ガイドラインにおいて、学校は地域クラブへの参加状況の把握に努めるとしており、生徒とのコミュニケーションに活かすよう学校に働きかけたい。

⑥部活動、かこ☆くらと、内申点との関わりについて（7件）

→部活動をしていることをもって、一律に内申点が加点されることはない。部活動の記録については、他の活動の記録と合わせて、特別活動の記録等に記載されるものである。一方で、記載された内容を受験の合否に加味するかどうかは、高校等の判断となる。私学などで、スポーツや文化活動に特色をおいている学校等では部活動の活動状況を評価される可能性はある。

⑦移動手段について（交通インフラの拡充や自転車通学の許可など）（12件）

→交通インフラの拡充は、市だけの判断で拡充できるものではなく難しい。

→放課後の活動として塾や習い事などと同様の扱いになり、帰宅してから参加するものである。駐輪場の確保や他の活動との公平性などの課題もあり難しい。

⑧情報発信について（移行期における生徒への地域クラブ団体にかかる情報発信について）（11件）

→令和9年度からの本格実施分は今年度の3月に募集を行う予定。募集後に具体的な場所の調整等を行うため、精緻な情報ではないが、可能な範囲で応募状況等を発信していきたい。

(2) スポーツ・文化団体向け説明会

- ①活動場所について（中学校施設を社会体育団体は利用できなくなるのか、かこ☆くらで小学校施設を利用することがあるかついて）
→中学校施設は中学生のための施設であるという観点から、かこ☆くらの活動で優先使用することとしており、既存の社会体育団体には、別途活動可能な場所を確保していただく必要が出てくる場合がある。
→かこ☆くらでは、中学校施設を優先使用する。活動場所が足りない状況が生じた場合は、小学校施設の使用についても検討する場合がある。

②指導者研修について（研修が負担となり指導者確保のハードルが上がることについて）

- 保護者の安心につながるため、見守りを行う指導者も含めて活動開始までに研修を必須としている。ただし、市としても受け皿確保も課題であるため、バランスを考慮し、研修をオンラインで受講できるなど、可能な限り負担軽減を図っていきたい。

③指導者報酬について（報酬等は必ず受け取らないといけないか）

- 持続可能な活動とするため、報酬又は手当を受け取っていただくことが望ましいと考えている。しかしながら、ボランティアとして関わることも可能である。

④地域クラブの大会参加について（東播大会や県大会へ出場した際の補助について）

- かこ☆くらは、上位大会への進出からレクリエーションまで幅広い活動としており、上位大会への出場に対する補助が相応しいか検討が必要と考えている。

(3) 教職員向け説明会

①教職員の兼職兼業について（教職員が平日に参加できる時間帯について）

- 例えば、16時から地域クラブの活動を行う場合、教職員の勤務終了時間が16時40分であれば、勤務中となるので教職員は従事できない。ただ、16時から指導や見守りができる教職員以外のスタッフがおられるのであれば、地域クラブの活動は可能である。

②かこ☆くら活動ガイドラインについて（会費に上限を設けるのか）

- 市として会費の上限設定は難しい。今冬には国が会費の目安を示すとされているため、その金額を参考にするが、市としては、ヒアリング等を行い、会費の妥当性について確認していきたい。

③地域クラブの募集について（先行実施の3種目も、活動場所を確保できていることが必須なのか。）

- 先行実施の3種目（ソフトボール、ハンドボール、サッカー）については、活動場所の確保を条件としている。活動場所の確保を条件としているのは、既存部活動にない種目のみである。

④学校施設の貸し出しについて（雨天の場合、教室内や渡り廊下など活動場所を変更して活動できるのか。屋外スポーツでも期間限定で体育館を使用することはできるのか。）

- かこ☆くら優先で中学校施設は利用できるが、学校管理外の活動となることから、事前に利用調整を行うため、原則、活動場所のみとなる。

- 年度当初に年間の利用調整を行うため、冬季限定で体育館を使用するなど、イレギュラーな使用は難しいが、施設が空いている場合等は柔軟に利用調整を行っていきたい。